

グループホームやまと 第4回運営推進会議 報告書

開催日	令和3年3月9日（火）14:00～15:00			
開催場所	グループホームやまと			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	利用者の家族	1名	地域包括支援センター	0名
	地域住民の代表	1名	認知症の人と家族の会代表	1名
事業所出席者	施設長		介護課長	
欠席者	グループホーム管理者 計画作成担当者 利用者代表、地域包括支援センター			

- ・ 開会
- ・ 利用状況報告について

令和3年2月28日 現在

入居者の状況	入居人数（18名） 男性（3名） 女性（15名）
	要介護1（5名） 要介護2（3名） 要介護3（3名） 要介護4（7名） 要介護5（0名） 平均要介護度（2.65）
	年齢（平均85.6歳）（最若67歳）（最高100歳）

大山ユニット～要介護1（4名） 要介護2（1名） 要介護3（1名） 要介護4（3名）
要介護5（0名） 平均要介護度（2.3）
和みユニット～要介護1（1名） 要介護2（2名） 要介護3（2名） 要介護4（4名）
要介護5（0名） 平均要介護度（3.0）

- ・ 11/11～R3.2/28の状況報告

2、活動状況（R02.11/11～R03.2/28）

月日	内 容	状 況
12月初旬より	年賀状を書こうの会	和みユニットご利用者 9名参加 ご家族や親せきの方から返信がたくさんあった。
12/24	クリスマス会	ケーキで茶話会実施
12/28	鍋パーティー	大山ユニットご利用者 9名参加 個別の鍋を用意し季節を感じる事が出来た。
12/31	おせち料理詰め合わせ	ご利用者 3名参加 「もう大晦日なの？明日は正月か」と感慨深い活動になった。

R3 2/3	節分	両ユニットご利用者 真剣に鬼に向かって豆を投げられていた。 普段見ることのできない表情がたくさんあった。
【定期】		
	オレンジカフェ 中止	
	なでしこクラブ 中止	
	めだかクラブ 中止	
毎週水曜日	ボンジュールパン販売	
月一回	散髪	

3. 研修等（職員）の状況

月 日	内 容	備 考
12/3~4	管理者研修 名和にて	受講者：1名
12/11	法人新人研修 名和にて	参加者：1名
12/18	インフルエンザ研修・やまとゾーニング確認 講師：名和 岡本看護係長	全職員対象
12/24	法人主任・係長研修	参加者：1名
R3.1/14	敬仁会・仁厚会 GH 部会 事例検討会	参加者：3名
1/15・19	救急法	全職員対象
1/19	排泄研修（ユニ・チャーム ZOOM 研修）	参加者：4名
1/27	認知症研修（帰宅願望） 講師：矢間施設長	全職員対象
2/1~6	手洗い研修 講師：南栄養士	全職員対象
2/17	水害訓練（図上訓練）リーダー以上	参加者：4名
2/25	認知症の人とコミュニケーション研修	全体会にて
2/24・26	感染症研修（ゾーニング・接触者リストアップ訓練）	参加者：4名
1/8~3/13	ケアマネ更新研修	参加者：1名

4. 事故・ヒヤリハット報告について

◆R2年 11/11~1R03.2/28：事故ヒヤリ報告と対応

内 容	件数	状 況
転 倒	5 件	リビング・居室での方向転換時にバランスを崩す 2 件 →移動しやすいように椅子や老人車の設置位置を統一する ブレーキのかけ忘れ 1 件 →声掛け、その日の状態の共有 疾病の進行による筋力の低下 2 件 →様子を見ながら椅子やソファで休んでいただく

離 所	0 件	
ずり落ち	2 件	便座からのずり落ち →前側のバーを下ろしナースコールの声掛け リビングの椅子からのずり落ち →優先順位を考えての対応、状況を説明し理解をいただく声掛け
しりもち	1 件	夜間ポータブル使用時にしりもち（レベル3：これまでの積み重ねによる腰椎圧迫骨折） →ポータブル使用時に音がするので訪室し様子確認 身体状況（今日は動きが悪いなど）の情報共有
表皮剥離	2 件	自らのひっかき傷 1 件 →※状態がかなり変化しているため 24H シートを使用し支援方法を検討し取り組み中 原因不明の表皮剥離（レベル3） →皮膚状態の観察・保湿・介助方法の検討と周知
誤薬	1 件	下剤を間違えた →ISO 手順書の読み合わせ・服薬時の対応をチェック（係長より）
異食	3 件	おやつと一緒にパズルを口にする →おやつの際はパズルを下げる ペーパーを口にする →空腹時の対応を検討中 自己排便をし口にする →排便のコントロール（上記※と同一の方、24H シートより取り組み中）
ヒヤリハット	10 件	薬に関するもの 2 件、異食に繋がるもの 2 件、トラブル 2 件等

《 主なご意見 》

施設長：防災について。地域の連携や普段から繋がる事が大切。令和 3 年 4 月の法改正ではこれらを重視したものになる。

ワクチン接種が出来たら外との関わりを持つ事も考えている。

認知症の人と家族の会代表：若い人と違って高齢者は容姿が変わりやすい。定期的に写真を撮って一覧で分かる様になると良い。後でご家族も使えるので、きちんとした写真を撮っておくと良い。

利用者の家族：写真は毎月送ってもらえると元気しとるなど思う。知り合いにも見せられてよい。介護度 5 とはどのような状況か？

認知症の人と家族の会代表：胃ろうは介護度 4 が出ている。寝ている人は手間が掛からないから逆に介護度が上がらない。

施設長：介護度は介護にかかる時間数で加算される。（医療度もある）認定が厳しくなり、今は 5 は出にくくなった。

認知症の人と家族の会代表：複数の施設を申し込んで入居が決まっても他施設に断りを入れない人もいる。中部はデイやグループホームも待機が多い。
米子市は春からシステムや包括の動きが変わる。

障害・精神・子ども・高齢者も一元化してすぐに動けるような体制に変わっていく。

社協：サロンも 15 人もいないとお金がもらえなかったが、基準も春から変わる。担当地区（中学校区）に専任の保健師が配置された。

地域住民の代表：ニューやまと地区の総会はコロナの為に中止。

4 月 1 日から淀江・宇田川・大和の 3 つに社会福祉協議会が分かれる。民生委員も来年分かれる。

防災に関して、津波の場合、避難時間がポイントになる。鳥取沖なら 17 分で到達する。その場で避難の判断をしないといけない。米子市とナフコ・サンテ淀江・シャトーおだかとの避難場所の協定を結んでいる。避難手順の確認を進めた方がよい。